

職員による自己評価

A 環境面

- ・ 職員の配置基準を満たしている。
- ・ 事業所が階段のみのビルの 3 階にあるため、バリアフリーとは言い難い。
- ・ バス通りに面しており、駅からも遠くないため、一人で公共交通機関を利用するの通所にチャレンジできる環境となっている。

B 児童への支援内容

- ・ 全職員が研修に参加し、支援に活かせるよう、各々が自己研鑽に努めている。

C 関係機関との連携

- ・ 戸塚区協議会に参加し、他事業所や関係機関との意見交換を行っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 運営規定、利用規約はご契約時に書面を使用しながら口頭で行っており、1 部ご家庭で保管用にお渡ししています。
- ・ システムの変更により、活動記録の連絡形態が変わり、ご不便をおかけしています。

E 非常対応

年 2 回（春・夏）火事と地震を想定した避難訓練を行っています。

保護者による評価

A 環境面

- ・ バリアフリーを意識していなかったため、わかりません。

B 児童への支援内容

- ・ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を希望しません。

C 事業所からの情報発信

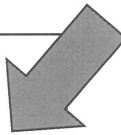
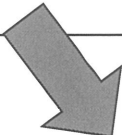
- ・ 以前の LINE やメールでの連絡（当日の様子）の方が良いと思う。

D 非常対応

- ・ マニュアルの説明や避難訓練が実施されているという回答を多くいただきました。

E 満足度

- ・ （お子様が）とても楽しみにしています。
- ・ とても満足しています。



事業所内での分析

【共通点】

- ・ 事業所が階段のみのビルの 3 階にあるため、ご利用様にはご不便をおかけしてしまっている。また、ご家庭からも同様に、「どちらでもいえない」という回答が多かった。
- ・ 年 2 回避難訓練を実施しており、来所予定のお子様には 1 回ずつ参加していただくよう調整しています。また、ご家庭からも「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」に対して、「はい」という回答を多くいただいた。

【相違点】

- ・ 従来の活動報告確認システムでの活動報告の方が良かったという意見がみられた。
- ・ 昨年に引き続き、苦情対応についての認知度があまり高くなかった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- 主な連絡手段が LINE やメールとなっているため、気軽に連絡がとりやすい。情報を共有しやすい。
- 様々な教材を用意しており、個々に合わせた内容を、到達度合いに応じて調整している為、お子様の成長を感じながら、学習支援をすることができる。
- 対応する職員で支援の差が出ないように、毎日支援に入る前に、保護者からのご要望や、特性について情報共有を行ってから支援に入るように、事前準備を欠かさず行っている。

事業所の改善点

- 当日のお子様のご様子について、システムが変わり、ご不便をおかけしているため、補助的な意味合いで、ご家族の送迎があるお子様に関しては、フィードバックの時間を設け、その日のご様子についてかいつまんでご報告させていただく。
- 希望や必要性に応じて、保護者同士の意見交換の場も検討していく。

事業所の改善への取り組み

- ・ご家族の送迎がある際には、ご帰宅時にフィードバックの時間を設けその日のご様子についてかいつまんでご報告させていただく。
- ・今後の希望や必要性に応じて保護者同士の交流会等も検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年に引き続きアンケートにご協力いただきありがとうございました。開所してから約1年半が経過しましたが、お子様の成長を身近で感じることができ、指導員一同大変嬉しく思っております。今後も社会性や学習面においてお子様の可能性を最大限に引き出せるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚第2教室

保護者数（児童数）：48 回収数：29 割合：60.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	7	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	6	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	16	7	・バリアフリーを意識していなかったためわかりません。	・事業所自体が階段のみのビルの3階にあるということでご不便をおかけしております。必要に応じて、来所時および退所時等は、階段の下まで指導員による付きそい等行っていきたいと思いをします。
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	27	1	1		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	19	11	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 3	11	不必要 15	・希望しません	ご希望の声が多くなりましたら、検討していききたいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	1	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	25	3	1	・以前のシステムでの連絡の方がいいと思います	システムの変更により、お子様の当日の様子について、ログイン等お手数をおかけしてしまい大変申し訳ございません。必要に応じて、送迎の際にフィードバックをさせていただく等、補助的に当日の様子についてお伝えできる場を設けて行ければと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	4	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 6	8	不必要 15	・有れば参加したいです ・希望しません	ご希望に応じて、検討していききたいと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	11	0	・今のところこの場面にはまだ立ち会っていないためわかりません	今後ご家庭やお子様から、苦情等いただきましたら、適切に対応していききたいと思います。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	4	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	3	0		

	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	4	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	3	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	1	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3	1	・とても楽しみにしています ・そういう子どもなのでどちらともいえないという解答になってしまい仕方がないと思っております	ご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しく通えるよう、工夫してまいります。よろしくお願いたします。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	1	2	・とても満足しています	保護者様もお子様も安心して通えるよう、日々精進してまいります。また、日々自己研鑽を行い、皆様に支援というかたちで還元していけたらと思います。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクール東戸塚第2教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守しています。	今後も継続していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内は段差等なくバリアフリー化がされています。しかし事業所が階段のみのビルの3階にあるため、ご不便をおかけしています。	教室内においては、引き続き危険のないよう、危険とされる箇所を保護する等工夫を行ってまいります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々、職員間で情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力をいただき、業務の改善に努めています。	今後も引き続きアンケートの実施を行い、皆様からの貴重なご意見をいただき、業務改善に努めてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年に引き続き、オレンジスクール東戸塚第2教室のHPにて公開予定です。	今後も継続していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在は実施していません。	必要に応じて、今後検討していきたいと思っております。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修・社内研修を適宜実施しています。	今後も継続していきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用日の活動報告や、適宜面談を実施しています。また、職員間で話し合いの場を設け、様々な観点からの意見を集め、モニタリング・個別支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用しています。	今後も継続していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所職員全体で行っています。	今後も継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			利用者の特性や課題に応じて内容を日々検討しています。また、季節の活動も取り入れています。おもちゃも定期的に入れ替えることで、様々なおもちゃやゲームに興味をもってもらえるよう工夫しています。	今後も継続していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容を検討、設定したうえで支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容を検討、設定したうえで支援を行っています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用時間開始前に職員で、当日の動きを確認しています。また事前に情報共有を行ってから支援に入っています。	今後も継続していきます。

	①6	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了後に職員間で情報共有をおこなっています。	当日不在で参加できなかった職員にも周知できるよう、次回出勤時に必ず情報共有を行っています。
	①7	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用者の退所後、活動記録を作成しています。その記録をもとに次回以降の活動を検討しています。また、職員で記録に差が出ないよう、文言や表現の統一を徹底しています。	今後も継続していきます。
	①8	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回を目安にモニタリングを行い、個別支援計画の再作成をしています。	今後も継続していきます。
	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		個別支援計画をもとに、活動内容を検討、設定したうえで支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、支援を担当するスタッフが参画することになっています。	今後も継続していきます。
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		現在実施例はありませんが、今後実施予定で準備をしています。	必要に応じて連携をしています。
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療職スタッフを配置していないため、利用の際は主治医・保護者をご相談させていただきます。	今後も継続していきます。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて、連絡・連携をしています。	今後も継続していきます。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当のお子様がいらっしゃいませんでした。	お子様の状況、ご家庭のご要望に応じて、直接の連絡・連携を検討していきます。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や見学会に参加し、日々の支援につなげています。	今後も継続していきます。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	開所時間の都合上、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。	開所時間の都合により、現在は開催が難しい状況ですが、今後必要に応じて検討していきます。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加し、他事業所との意見交換を行っています。	今後も積極的に参加していきます。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用後、その日の活動報告をさせていただいています。また、ご家庭からのご相談もメール、LINE等をご活用いただいています。	今後も継続していきます。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	面談の際に、お困りごと等に対してお話をさせていただいております。積極的とは言えない部分もありますので、今後方法等を検討したいと思います。	今後必要に応じて、検討していきたいです。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にご説明しており、教室内に掲示しています。また必要に応じてご質問いただければ回答もさせていただきます。	今後も継続していきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談の際に、お困りごと等に対してお話をさせていただいております。積極的とは言えない部分もありますので、今後方法等を検討したいと思います。	今後も継続していきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は実施していません。	今後必要に応じて、検討していきたいと思えます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情をいただいた際は、社内のフローに従って迅速かつ適切に対応しています。またいただいた苦情は記録として残し、再発防止に努めています。	今後も継続していきます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログ・毎月のおたよりに活動の様子を報告しています。	今後も継続していきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報につきましては、鍵付き棚で保管しています。また、教室内の全PCにてパスワードを設定しています。	今後も継続していきます。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お伝えする情報はメール・LINEやおたよりなど文書化を心掛けています。お子様へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するよう心掛けています。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	オレンジスクール東戸塚第2教室では実施できていません。	今後必要に応じて、検討していきたいと思えます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内ではそれぞれのマニュアルを策定し、職員間で共有しています。保護者にも周知いただけるよう掲示を工夫していきたいと思えます。	今後も継続していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			春と冬の長期休暇中に訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	④①	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で研修を行っています。	今後も継続していきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			安全にご利用いただけるよう、事業所内で対応を決定しています。また、契約時に「身体拘束に関する同意書」をもとに説明し、ご署名をいただいています。	今後も継続していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事・おやつ提供はありません。また、アセスメント時にアレルギーの確認もさせていただいております。	今後も継続していきます。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成し、職員で迅速に共有しています。同様の事象が発生しないよう対応をおこなっています。	今後も継続していきます。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。